



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 フィデアホールディングス株式会社  
コード番号 8713 URL <http://www.fidea.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 里村 正治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長

(氏名) 宮下 典夫

TEL 022-290-8800

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	37,734	△0.3	9,101	12.8	7,355	46.6
26年3月期第3四半期	37,869	4.5	8,065	23.6	5,016	24.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 22,042百万円 (213.4%) 26年3月期第3四半期 7,033百万円 (27.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	51.27	33.87
26年3月期第3四半期	34.96	25.37

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,804,384	104,829	3.6
26年3月期	2,597,193	83,928	3.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 103,526百万円 26年3月期 82,654百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	5.00	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	△5.5	7,000	12.5	47.87

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	143,464,890 株	26年3月期	143,464,890 株
27年3月期3Q	16,190 株	26年3月期	12,353 株
27年3月期3Q	143,450,468 株	26年3月期3Q	143,454,703 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は次のとおりです。

B種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	5.44	5.44
27年3月期	—	—	—		
27年3月期（予想）				5.28	5.28

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
4. (参考) 個別業績の概況(株式会社 荘内銀行)	7
5. (参考) 個別業績の概況(株式会社 北都銀行)	10
6. 四半期決算補足説明資料	13
○ 平成27年3月期 第3四半期決算短信 説明資料	
○ 平成27年3月期(平成26年度) 第3四半期 決算概要について	

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税の影響が予想以上に長引き、加えて円安に伴う物価の上昇もあり、個人消費や住宅投資を中心に内需が低調に推移したほか、生産にも弱めの動きが見られるなど、回復の足取りは重いものとなりました。また、当社グループの主たる営業エリアである東北地方は、復興関連を中心に公共投資が高水準を持続し、雇用情勢が改善傾向で推移したものの、住宅投資が減少傾向を辿り、個人消費や生産の弱さが続くなど、全体としては、緩やかな持ち直しの動きに足踏み感が残りました。

このような状況下で、当第3四半期連結累計期間の経営成績のうち連結経常収益は、資金運用収益や役員取引等収益等の増加の一方で有価証券の売却益が減少したことから、前年同期比1億34百万円(0.3%)減少の377億34百万円となりました。一方、連結経常費用は、有価証券売却損の減少を主な要因として、前年同期比11億71百万円(3.9%)減少の286億32百万円となりました。その結果、連結経常利益は前年同期比10億36百万円(12.8%)増加の91億1百万円、四半期純利益は前年同期比23億38百万円(46.6%)増加の73億55百万円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、株式会社荘内銀行(以下、「荘内銀行」)単体の経営成績は、経常収益が前年同期比37百万円(0.2%)増加の186億2百万円、経常利益が前年同期比2億85百万円(6.6%)増加の45億83百万円、四半期純利益が前年同期比2億18百万円(8.1%)増加の29億1百万円となりました。一方、株式会社北都銀行(以下、「北都銀行」)単体の経営成績は、経常収益が前年同期比4億83百万円(2.8%)増加の175億6百万円、経常利益が前年同期比9億98百万円(36.3%)増加の37億46百万円、四半期純利益が前年同期比24億2百万円(159.9%)増加の39億4百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当社グループ連結の主要勘定残高のうち、預金等(譲渡性預金を含む)の当第3四半期連結会計期間末残高は、個人預金及び公金預金等の増加から、前連結会計年度末比1,669億円(7.0%)増加の2兆5,238億円となりました。貸出金の当第3四半期連結会計期間末残高は、地方公共団体向け貸出及び個人ローン等の増加から、前連結会計年度末比538億円(3.2%)増加の1兆7,179億円となりました。有価証券の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比1,258億円(15.2%)増加の9,505億円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、荘内銀行単体の預金等(譲渡性預金を含む)の当第3四半期会計期間末残高は前事業年度末比871億円(7.2%)増加の1兆2,900億円、貸出金の当第3四半期会計期間末残高は前事業年度末比281億円(3.1%)増加の9,258億円、有価証券の当第3四半期会計期間末残高は前事業年度末比872億円(22.9%)増加の4,674億円となりました。一方、北都銀行単体の預金等(譲渡性預金を含む)の当第3四半期会計期間末残高は、前事業年度末比798億円(6.8%)増加の1兆2,541億円、貸出金の当第3四半期会計期間末残高は前事業年度末比260億円(3.3%)増加の8,082億円、有価証券の当第3四半期会計期間末残高は前事業年度末比385億円(8.5%)増加の4,916億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の四半期純利益について、資金利益が予想を上回っていることや与信関係費用が予想を下回っていることなどから、当第3四半期時点で平成26年11月10日に公表した平成27年3月期の通期業績予想を上回っておりますが、税制改正の影響による繰延税金資産取り崩しを見込んでいることなどから、現時点において業績予想の修正はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、重要な子会社の異動はありません。

なお、平成26年4月1日に株式会社荘内銀行を吸収合併存続会社とし、荘銀事務サービス株式会社を吸収合併消滅会社として合併しました。また、平成26年7月1日に株式会社北都銀行を吸収合併存続会社とし、北都銀ビジネスサービス株式会社を吸収合併消滅会社として合併しました。

加えて、平成26年10月31日に株式会社北都ソリューションズを解散し、現在清算手続き中であります。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が142百万円、退職給付に係る負債が583百万円増加し、利益剰余金が284百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	60,660	83,909
買入金銭債権	4,025	3,987
商品有価証券	99	106
金銭の信託	2,977	3,104
有価証券	824,684	950,581
貸出金	1,664,140	1,717,973
外国為替	2,745	3,081
その他資産	8,553	9,659
有形固定資産	22,928	24,180
無形固定資産	2,893	3,912
退職給付に係る資産	1,143	1,195
繰延税金資産	3,012	805
支払承諾見返	14,761	15,515
貸倒引当金	△15,433	△13,629
資産の部合計	2,597,193	2,804,384
<b>負債の部</b>		
預金	2,226,755	2,324,460
譲渡性預金	130,202	199,424
コールマネー及び売渡手形	47,616	12,745
債券貸借取引受入担保金	11,336	49,717
借入金	43,440	54,300
外国為替	0	0
社債	10,000	10,000
新株予約権付社債	6,000	6,000
その他負債	16,428	14,389
退職給付に係る負債	2,372	2,739
睡眠預金払戻損失引当金	681	507
偶発損失引当金	419	390
その他の引当金	40	40
繰延税金負債	2,557	8,671
再評価に係る繰延税金負債	651	651
支払承諾	14,761	15,515
負債の部合計	2,513,264	2,699,554
<b>純資産の部</b>		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	24,744	24,744
利益剰余金	28,093	34,310
自己株式	△2	△3
株主資本合計	67,835	74,052
その他有価証券評価差額金	14,510	28,976
繰延ヘッジ損益	△8	△4
土地再評価差額金	1,091	1,091
退職給付に係る調整累計額	△774	△588
その他の包括利益累計額合計	14,819	29,474
少数株主持分	1,274	1,303
純資産の部合計	83,928	104,829
負債及び純資産の部合計	2,597,193	2,804,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
経常収益	37,869	37,734
資金運用収益	25,661	26,281
(うち貸出金利息)	19,720	19,056
(うち有価証券利息配当金)	5,879	7,193
役務取引等収益	7,231	7,317
その他業務収益	2,083	1,965
その他経常収益	2,893	2,169
経常費用	29,804	28,632
資金調達費用	2,301	2,271
(うち預金利息)	1,855	1,774
役務取引等費用	2,272	2,302
その他業務費用	1,584	511
営業経費	21,910	22,422
その他経常費用	1,734	1,123
経常利益	8,065	9,101
特別利益	11	1
固定資産処分益	4	1
負ののれん発生益	6	-
特別損失	59	57
固定資産処分損	31	25
減損損失	27	32
税金等調整前四半期純利益	8,018	9,045
法人税、住民税及び事業税	615	1,467
法人税等調整額	2,350	193
法人税等合計	2,965	1,660
少数株主損益調整前四半期純利益	5,052	7,385
少数株主利益	35	30
四半期純利益	5,016	7,355



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,052	7,385
その他の包括利益	1,980	14,657
その他有価証券評価差額金	1,977	14,468
繰延ヘッジ損益	3	3
退職給付に係る調整額	-	185
四半期包括利益	7,033	22,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,996	22,010
少数株主に係る四半期包括利益	37	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. (参考) 個別業績の概況 (株式会社 荘内銀行)

平成27年2月10日

会 社 名 株式会社 荘内銀行  
 代 表 者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 國井 英夫 URL <http://www.shonai.co.jp/>  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 宇野 寿人 TEL 023-626-9006

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

○ 平成27年3月期第3四半期の個別業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 個別経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	18,602	0.2	4,583	6.6	2,901	8.1
26年3月期第3四半期	18,565	10.6	4,298	66.1	2,683	74.8

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,469,421	61,921	4.2
26年3月期	1,340,367	52,108	3.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 61,921百万円 26年3月期 52,108百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○ 四半期個別財務諸表 (株式会社 荘内銀行)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	39,033	50,703
買入金銭債権	1,582	1,968
商品有価証券	53	92
金銭の信託	2,000	2,101
有価証券	380,159	467,444
貸出金	897,627	925,809
外国為替	1,939	2,331
その他資産	3,061	3,869
有形固定資産	12,733	13,221
無形固定資産	723	614
前払年金費用	347	—
支払承諾見返	6,010	5,869
貸倒引当金	△4,903	△4,604
資産の部合計	1,340,367	1,469,421
<b>負債の部</b>		
預金	1,114,525	1,176,849
譲渡性預金	88,397	113,242
コールマネー	9,916	12,745
債券貸借取引受入担保金	11,336	25,955
借入金	35,600	47,000
外国為替	0	0
社債	10,000	10,000
その他負債	7,543	6,091
退職給付引当金	994	1,312
睡眠預金払戻損失引当金	193	155
偶発損失引当金	143	173
繰延税金負債	2,946	7,453
再評価に係る繰延税金負債	651	651
支払承諾	6,010	5,869
負債の部合計	1,288,259	1,407,500
<b>純資産の部</b>		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	18,808	18,808
利益剰余金	16,686	18,604
株主資本合計	42,495	44,413
その他有価証券評価差額金	8,530	16,421
繰延ヘッジ損益	△8	△4
土地再評価差額金	1,091	1,091
評価・換算差額等合計	9,613	17,508
純資産の部合計	52,108	61,921
負債及び純資産の部合計	1,340,367	1,469,421

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
経常収益	18,565	18,602
資金運用収益	13,743	14,037
(うち貸出金利息)	10,527	10,191
(うち有価証券利息配当金)	3,199	3,828
役務取引等収益	3,303	3,444
その他業務収益	240	88
その他経常収益	1,277	1,032
経常費用	14,267	14,018
資金調達費用	1,589	1,585
(うち預金利息)	1,198	1,151
役務取引等費用	1,505	1,518
その他業務費用	204	8
営業経費	10,304	10,552
その他経常費用	663	353
経常利益	4,298	4,583
特別利益	—	20
抱合せ株式消滅差益	—	20
特別損失	16	14
固定資産処分損	15	0
減損損失	0	14
税引前四半期純利益	4,281	4,589
法人税、住民税及び事業税	380	1,290
法人税等調整額	1,217	396
法人税等合計	1,598	1,687
四半期純利益	2,683	2,901

5. (参考) 個別業績の概況 (株式会社 北都銀行)

平成27年2月10日

会 社 名 株式会社 北都銀行  
 代 表 者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 斉藤 永吉 URL <http://www.hokutobank.co.jp/>  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 伊藤 元範 TEL 018-833-4211

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

○ 平成27年3月期第3四半期の個別業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	17,506	2.8	3,746	36.3	3,904	159.9
26年3月期第3四半期	17,023	△1.3	2,747	2.4	1,502	8.4

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,360,618	54,363	3.9
26年3月期	1,282,776	44,140	3.4

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 54,363百万円 26年3月期 44,140百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○ 四半期個別財務諸表 (株式会社 北都銀行)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	21,614	33,176
買入金銭債権	1,076	694
商品有価証券	46	14
金銭の信託	977	1,002
有価証券	453,077	491,655
貸出金	782,256	808,278
外国為替	806	749
その他資産	4,411	5,037
有形固定資産	13,560	14,307
無形固定資産	1,691	2,828
前払年金費用	1,164	1,208
繰延税金資産	2,673	—
支払承諾見返	8,772	9,665
貸倒引当金	△7,472	△6,101
投資損失引当金	△1,879	△1,899
資産の部合計	1,282,776	1,360,618
<b>負債の部</b>		
預金	1,122,696	1,158,219
譲渡性預金	51,505	95,881
コールマネー	37,700	—
債券貸借取引受入担保金	—	23,762
借入金	12,840	12,300
その他負債	2,902	3,314
睡眠預金払戻損失引当金	488	352
偶発損失引当金	276	217
繰延税金負債	—	1,096
再評価に係る繰延税金負債	1,456	1,445
支払承諾	8,772	9,665
負債の部合計	1,238,636	1,306,254
<b>純資産の部</b>		
資本金	11,000	11,000
資本剰余金	18,499	18,499
利益剰余金	6,390	10,157
株主資本合計	35,889	39,656
その他有価証券評価差額金	5,846	12,319
土地再評価差額金	2,404	2,387
評価・換算差額等合計	8,250	14,706
純資産の部合計	44,140	54,363
負債及び純資産の部合計	1,282,776	1,360,618

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
経常収益	17,023	17,506
資金運用収益	11,971	12,445
(うち貸出金利息)	9,248	9,050
(うち有価証券利息配当金)	2,682	3,385
役務取引等収益	3,296	3,266
その他業務収益	1,007	1,148
その他経常収益	747	645
経常費用	14,275	13,760
資金調達費用	761	762
(うち預金利息)	656	623
役務取引等費用	984	1,031
その他業務費用	1,059	269
営業経費	10,674	11,194
その他経常費用	795	503
経常利益	2,747	3,746
特別利益	4	58
固定資産処分益	4	1
抱合せ株式消滅差益	—	57
特別損失	40	49
固定資産処分損	13	23
減損損失	26	25
税引前四半期純利益	2,711	3,755
法人税、住民税及び事業税	39	42
法人税等調整額	1,169	△191
法人税等合計	1,209	△148
四半期純利益	1,502	3,904

6. 四半期決算補足説明資料

平成27年3月期 第3四半期決算短信 説明資料

1. 損益の状況

(1) フィデアホールディングス【連結】

平成27年3月期第3四半期の連結経常収益は前年同期比1億34百万円減少の377億34百万円（前年同期比0.3%減少）となりました。  
 連結経常利益は前年同期比10億36百万円増加の91億1百万円（同12.8%増加）、連結四半期純利益は前年同期比23億38百万円増加の73億55百万円（同46.6%増加）となりました。

(単位：百万円)

		平成27年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (A)	平成26年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)	(参考) 平成27年3月期 通期予想値
連結経常収益	1	37,734	37,869	△ 134	
連結粗利益	2	30,478	28,816	1,662	
(除く国債等債券損益) = コア業務粗利益	3	(29,476)	(28,513)	(962)	
資金利益	4	24,010	23,359	651	
役務取引等利益	5	5,014	4,958	56	
その他業務利益	6	1,453	498	954	
(うち国債等債券損益)	7	(1,002)	(303)	(699)	
経費 (除く臨時処理分)	8	22,128	21,558	570	
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	9	8,350	7,258	1,091	
除く国債等債券損益 = コア業務純益	10	7,347	6,955	392	
①一般貸倒引当金繰入額	11	△ 480	△ 250	△ 230	
連結業務純益	12	8,830	7,508	1,322	
臨時損益	13	270	556	△ 285	
②うち不良債権処理額	14	1,335	1,693	△ 357	
③うち貸倒引当金戻入益	15	—	—	—	
④うち償却債権取立益	16	163	110	52	
うち株式等関係損益	17	988	1,762	△ 774	
連結経常利益	18	9,101	8,065	1,036	9,600
特別損益	19	△ 56	△ 47	△ 9	
税金等調整前四半期純利益	20	9,045	8,018	1,027	
法人税、住民税及び事業税	21	1,467	615	851	
法人税等調整額	22	193	2,350	△ 2,156	
法人税等合計	23	1,660	2,965	△ 1,305	
少数株主損益調整前四半期純利益	24	7,385	5,052	2,333	
少数株主損益	25	30	35	△ 5	
連結四半期純利益	26	7,355	5,016	2,338	7,000
与信関係費用 (①+②-③-④)	27	691	1,332	△ 641	

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)  
 3. 連結業務純益 = 連結粗利益 - 経費 (除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額



(2) 2行合算【単体】

(単位：百万円)

		平成27年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (A)	平成26年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)
経常収益	1	36,109	35,588	520
業務粗利益	2	29,257	27,462	1,795
(除く国債等債券損益) = コア業務粗利益	3	(28,294)	(27,078)	(1,215)
資金利益	4	24,138	23,366	771
役務取引等利益	5	4,159	4,111	48
その他業務利益	6	959	△ 15	974
(うち国債等債券損益)	7	(963)	(384)	(579)
経費 (除く臨時処理分)	8	21,424	20,539	884
人件費	9	10,035	9,623	412
物件費	10	10,205	9,914	291
税金	11	1,183	1,002	181
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	12	7,833	6,922	910
除く国債等債券損益 = コア業務純益	13	6,869	6,538	331
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 457	△ 90	△ 367
業務純益	15	8,291	7,012	1,278
臨時損益	16	38	33	5
②不良債権処理額	17	1,076	1,305	△ 228
貸出金償却	18	0	0	△ 0
個別貸倒引当金繰入額	19	996	1,141	△ 144
バルクセール売却損	20	△ 3	—	△ 3
その他の不良債権処理額	21	83	163	△ 80
③貸倒引当金戻入益	22	—	—	—
④償却債権取立益	23	151	72	78
株式等関係損益	24	1,011	1,669	△ 657
その他臨時損益	25	△ 47	△ 403	356
経常利益	26	8,330	7,046	1,283
特別損益	27	15	△ 53	68
税引前四半期純利益	28	8,345	6,993	1,352
法人税、住民税及び事業税	29	1,333	420	913
法人税等調整額	30	205	2,387	△ 2,181
法人税等合計	31	1,539	2,807	△ 1,268
四半期純利益	32	6,806	4,185	2,620
与信関係費用 (①+②-③-④)	33	467	1,142	△ 674

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用 + 金銭の信託見合費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)  
 3. 業務純益 = 業務粗利益 - 経費 (除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額

(3) 子銀行【単体】

○ 荘内銀行

平成27年3月期第3四半期の経常収益は前年同期比37百万円増加の186億2百万円（前年同期比0.2%増加）となりました。  
 経常利益は前年同期比2億85百万円増加の45億83百万円（同6.6%増加）、四半期純利益は前年同期比2億18百万円増加の29億1百万円（同8.1%増加）となりました。

(単位：百万円)

(参考)  
平成27年3月期  
通期予想値

		平成27年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (A)	平成26年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)
経常収益	1	18,602	18,565	37
業務粗利益	2	14,459	13,990	469
(除く国債等債券損益) = コア業務粗利益	3	(14,390)	(13,922)	(468)
資金利益	4	12,454	12,155	299
役務取引等利益	5	1,925	1,798	126
その他業務利益	6	79	36	43
(うち国債等債券損益)	7	(69)	(68)	(1)
経費 (除く臨時処理分)	8	10,263	9,974	288
人件費	9	5,153	4,964	189
物件費	10	4,629	4,558	70
税金	11	480	451	28
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	12	4,196	4,016	180
除く国債等債券損益 = コア業務純益	13	4,126	3,947	179
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 191	157	△ 348
業務純益	15	4,387	3,859	528
臨時損益	16	196	439	△ 242
②不良債権処理額	17	485	383	102
貸出金償却	18	0	0	△ 0
個別貸倒引当金繰入額	19	394	313	81
バルクセール売却損	20	3	—	3
その他の不良債権処理額	21	87	69	17
③貸倒引当金戻入益	22	—	—	—
④償却債権取立益	23	4	0	4
株式等関係損益	24	742	1,125	△ 383
その他臨時損益	25	△ 64	△ 303	239
経常利益	26	4,583	4,298	285
特別損益	27	5	△ 16	22
税引前四半期純利益	28	4,589	4,281	307
法人税、住民税及び事業税	29	1,290	380	910
法人税等調整額	30	396	1,217	△ 820
法人税等合計	31	1,687	1,598	89
四半期純利益	32	2,901	2,683	218

4,700

2,850

与信関係費用 (①+②-③-④)	33	289	539	△ 250
------------------	----	-----	-----	-------

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用 + 金銭の信託見合費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)  
 3. 業務純益 = 業務粗利益 - 経費 (除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額

○ 北都銀行

平成27年3月期第3四半期の経常収益は前年同期比4億83百万円増加の175億6百万円（前年同期比2.8%増加）となりました。  
 経常利益は前年同期比9億98百万円増加の37億46百万円（同36.3%増加）、四半期純利益は前年同期比24億2百万円増加の39億4百万円（同159.9%増加）となりました。

(単位：百万円)

(参考)  
 平成27年3月期  
 通期予想値

		平成27年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (A)	平成26年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)	
経常収益	1	17,506	17,023	483	
業務粗利益	2	14,797	13,471	1,326	
(除く国債等債券損益) = コア業務粗利益	3	(13,903)	(13,155)	(747)	
資金利益	4	11,683	11,210	472	
役務取引等利益	5	2,234	2,312	△ 77	
その他業務利益	6	879	△ 51	931	
(うち国債等債券損益)	7	(894)	(316)	(578)	
経費 (除く臨時処理分)	8	11,160	10,565	595	
人件費	9	4,881	4,658	223	
物件費	10	5,576	5,355	220	
税金	11	703	550	152	
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	12	3,636	2,906	730	
除く国債等債券損益 = コア業務純益	13	2,742	2,590	152	
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 266	△ 247	△ 19	
業務純益	15	3,903	3,153	750	
臨時損益	16	△ 157	△ 405	248	
②不良債権処理額	17	591	922	△ 330	
貸出金償却	18	—	—	—	
個別貸倒引当金繰入額	19	601	828	△ 226	
バルクセール売却損	20	△ 6	—	△ 6	
その他の不良債権処理額	21	△ 3	94	△ 97	
③貸倒引当金戻入益	22	—	—	—	
④償却債権取立益	23	146	72	74	
株式等関係損益	24	269	543	△ 274	
その他臨時損益	25	17	△ 99	117	
経常利益	26	3,746	2,747	998	4,000
特別損益	27	9	△ 36	46	
税引前四半期純利益	28	3,755	2,711	1,044	
法人税、住民税及び事業税	29	42	39	3	
法人税等調整額	30	△ 191	1,169	△ 1,361	
法人税等合計	31	△ 148	1,209	△ 1,357	
四半期純利益	32	3,904	1,502	2,402	3,900
与信関係費用 (①+②-③-④)	33	178	602	△ 424	

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用 + 金銭の信託見合費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)  
 3. 業務純益 = 業務粗利益 - 経費 (除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額

2. 金融再生法開示債権の状況【単体】

◆ 荘内銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成26年3月末比0.16ポイント減少の2.56%（平成25年12月末比0.57ポイント増加）となりました。  
 同行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率は2.45%となります。

◆ 北都銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成26年3月末比0.85ポイント減少の2.12%（平成25年12月末比1.18ポイント減少）となりました。

(1) 2行合算

	平成26年12月末	平成25年12月末	(単位：百万円) 平成26年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,238	6,173	6,251
危険債権	22,418	24,618	24,488
要管理債権	12,976	12,562	17,719
合計 (A)	41,633	43,355	48,459
正常債権	1,720,342	1,624,751	1,657,574
総与信 (B)	1,761,976	1,668,106	1,706,033
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.36%	2.59%	2.84%

(注) 1. 上記計数は、(2)に記載の各子銀行の計数を単純合算しております。  
 2. 荘内銀行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率（2行合算）は2.29%となります。

(2) 子銀行

○ 荘内銀行

	平成26年12月末	平成25年12月末	(単位：百万円) 平成26年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,844	3,759	4,008
危険債権	9,180	9,534	9,660
要管理債権	11,189	4,689	11,214
合計 (A)	24,214	17,982	24,883
正常債権	918,266	882,388	889,398
総与信 (B)	942,481	900,371	914,282
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.56%	1.99%	2.72%

(注) 1. 上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。  
 2. また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、荘内銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。  
 なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分について直接償却（部分直接償却）は実施しておりません。

○ 北都銀行

	平成26年12月末	平成25年12月末	(単位：百万円) 平成26年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,394	2,414	2,243
危険債権	13,237	15,084	14,827
要管理債権	1,787	7,873	6,504
合計 (A)	17,418	25,372	23,575
正常債権	802,075	742,363	768,175
総与信 (B)	819,494	767,735	791,751
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.12%	3.30%	2.97%

(注) 1. 上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。  
 2. また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、北都銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。  
 なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額（部分直接償却）しております。

3. 時価のある有価証券の評価差額【連結】【単体】

(単位：百万円)

		平成26年12月末				平成26年3月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損	うち益		うち損		
フィデアHD 【連結】	その他有価証券	948,149	44,714	45,235	521	822,015	22,074	23,355	1,281
	株式	26,338	8,240	8,381	141	19,548	4,034	4,274	239
	債券	710,940	15,866	15,902	36	696,430	8,808	8,936	127
	その他	210,870	20,607	20,950	343	106,036	9,230	10,144	914
2行合算 【単体】	その他有価証券	948,000	44,320	44,913	593	821,891	21,735	23,233	1,498
	株式	26,189	8,207	8,349	141	19,424	4,069	4,277	207
	債券	710,940	15,946	15,982	36	696,430	8,915	9,041	125
	その他	210,870	20,166	20,581	415	106,036	8,750	9,914	1,164
荘内銀行 【単体】	その他有価証券	466,092	25,394	25,741	347	378,626	13,186	14,059	873
	株式	15,674	5,212	5,314	101	12,781	3,229	3,368	138
	債券	333,391	9,025	9,045	19	303,677	5,286	5,392	106
	その他	117,026	11,156	11,382	226	62,167	4,669	5,298	628
北都銀行 【単体】	その他有価証券	481,908	18,925	19,171	246	443,265	8,548	9,173	624
	株式	10,515	2,994	3,035	40	6,642	839	908	68
	債券	377,548	6,920	6,937	16	392,753	3,628	3,648	19
	その他	93,844	9,009	9,199	189	43,869	4,080	4,616	535

- (注) 1. 有価証券について記載しております。  
 2. 「評価差額」及び「評価損益」は、取得原価（償却原価適用後、減損処理後。）と時価との差額を計上しております。  
 3. 株式については、決算日前1カ月の市場価格の平均に基づいて算定された価額を、また、それ以外については、決算日における市場価格等に基づく価額を時価としております。  
 4. なお、満期保有目的の債券及び時価のある子会社・関連会社株式は該当ありません。

4. 預金、貸出金等の状況【単体】

(1) 預金等（含む譲渡性預金）

- ◆ 荘内銀行の平成26年12月末における預金等の残高は平成26年3月末比871億円増加の1兆2,900億円（平成25年12月末比829億円増加）となりました。
- ◆ 北都銀行の平成26年12月末における預金等の残高は平成26年3月末比798億円増加の1兆2,541億円（平成25年12月末比212億円増加）となりました。

(単位：百万円)

		平成26年12月末	平成25年12月末	平成26年3月末
2行合算	預金等（含む譲渡性預金）	2,544,192	2,439,948	2,377,124
	うち個人預金	1,812,941	1,713,097	1,699,100
荘内銀行	預金等（含む譲渡性預金）	1,290,091	1,207,096	1,202,922
	うち個人預金	929,224	851,795	846,660
北都銀行	預金等（含む譲渡性預金）	1,254,101	1,232,851	1,174,201
	うち個人預金	883,716	861,302	852,440

(2) 貸出金

- ◆ 荘内銀行の平成26年12月末における貸出金の残高は平成26年3月末比281億円増加の9,258億円（平成25年12月末比427億円増加）となりました。
- ◆ 北都銀行の平成26年12月末における貸出金の残高は平成26年3月末比260億円増加の8,082億円（平成25年12月末比514億円増加）となりました。

(単位：百万円)

		平成26年12月末	平成25年12月末	平成26年3月末
2行合算	貸出金	1,734,087	1,639,911	1,679,884
	うち消費者ローン残高	585,928	562,646	569,539
	うち住宅ローン残高	527,410	506,935	511,974
荘内銀行	貸出金	925,809	883,072	897,627
	うち消費者ローン残高	387,558	366,106	372,777
	うち住宅ローン残高	365,040	344,784	350,613
北都銀行	貸出金	808,278	756,838	782,256
	うち消費者ローン残高	198,369	196,540	196,762
	うち住宅ローン残高	162,369	162,150	161,360

5. 投資信託及び公共債の預かり残高、生命保険の販売累計額【単体】

- ◆ 荘内銀行の平成26年12月末における投資信託の預かり残高は平成26年3月末比16億70百万円減少の522億65百万円（平成25年12月末比39億51百万円減少）となり、生命保険の販売累計額は平成26年3月末比245億12百万円増加の2,362億27百万円（同302億88百万円増加）となりました。
- ◆ 北都銀行の平成26年12月末における投資信託の預かり残高は平成26年3月末比56億4百万円増加の449億33百万円（平成25年12月末比47億45百万円増加）となり、生命保険の販売累計額は平成26年3月末比172億26百万円増加の1,944億37百万円（同250億51百万円増加）となりました。

(単位：百万円)

		平成26年12月末	平成25年12月末	平成26年3月末
2行合算	投資信託	97,199	96,405	93,265
	公共債（国債等）	22,721	30,542	28,960
	生命保険	430,664	375,324	388,925
	うち個人年金保険	234,015	218,799	223,184
	うち一時払い終身保険	196,648	156,525	165,740
荘内銀行	投資信託	52,265	56,217	53,936
	公共債（国債等）	9,296	10,339	10,321
	生命保険	236,227	205,938	211,714
	うち個人年金保険	129,443	121,476	123,644
	うち一時払い終身保険	106,783	84,461	88,070
北都銀行	投資信託	44,933	40,187	39,328
	公共債（国債等）	13,425	20,203	18,639
	生命保険	194,437	169,385	177,210
	うち個人年金保険	104,572	97,322	99,539
	うち一時払い終身保険	89,864	72,063	77,670

(注) 生命保険は、販売累計額を記載しております。